

## NSAIDs と消化管病変

司会 大阪医科大学第二内科  
川崎医科大学内科学(食道・胃腸科)

樋口 和秀  
春間 賢

近年、NSAIDs やアスピリンによる消化管粘膜傷害・出血が注目を集めている。カプセル内視鏡などの臨床応用により、小腸傷害が少なからずあることが明らかになり、すべての消化管をマネジメントしなければならなくなってきた。食道・胃・十二指腸・小腸・大腸の病変の形態学的・組織学的な異同はどうであるか、それぞれの部位での発生のメカニズムの違いはあるか、NSAIDs とアスピリンでは差があるかなどを明らかにしながら、治療や予防法についても議論したい。